

郷土の会だより

発行責任者
岡村昭則

ウォーキングサークル

栗橋宿 (9月7日)

天谷 範夫

本日は私を入れて10名。行程は地元の中田さんが作成。同じく地元の梅田さんと、二名がガイドとなつて、まずは西口を南に進み、鎌倉街道の一部分が残っている場所へ進む。見た目には、手入れのされてない雑木林といった感じです。駅に戻り、東口側の方へ行くと、超ミニサイズの公園かと思つたところが静御前の墓、句碑や静桜もあります。9月15日には、墓前祭も行われるそうです。道を北上して、宝治戸池、関所番士屋敷、八坂神社と廻りここで、昼食休憩。本殿参拝の時、中から神主さんが出てこれられ、お祓いをしてくれるとの事で、急遽全員集合してお祓いを受ける。更に神輿蔵のカーテンを開けて、神輿をガラス戸越しに見せて下さったり、烏居脇の石碑の前で、神社の説明をされたり、最後は私たちの集合写真と一緒に納まるオマケまで。午後からは、神社前の旧道からスタート。まずは土手寄りの関所跡の石碑を見て、更

に旧道を南下しながら、本陣跡、吉田家へと向かう。ここでは水塚と蔵内部を見せていただく。南下を続け顕正寺へ。栗橋宿開拓者の池田鴨之助の墓が有りここで小休憩。次に向かったのは、関所破りなどで処刑された者を供養する為に建てられたと言われている、焙烙地藏へ行く。この先、常薫寺裏側の土手上去り行き屋根付きの休憩場へ。残念ながら、関東の山々や、富士山は見えませんでした。ここち良い風を受けて休憩。土手沿いに歩き大型スーパー内で最後の休憩をとり、会津見送り稲荷を見て駅へ戻る。今日も暑い一日でした。

栗橋宿の経緯

この地は利根川の渡河地点にあたり、日光街道から江戸への出入りを監視する関所が置かれ、江戸の北方を守る要地であった。街道が整備される以前に町は無く、日光街道は手前の幸手宿から北東に向かった栗橋村(後に元栗橋村に改称、現茨城県猿島郡五霞町元栗橋)に渡船場があり、房川渡し・栗橋”とよばれていた。慶長年間に地元の池田鴨之助、並木五郎平の活躍により、現在の栗橋地区となる上河辺新田が開墾された。この年に街道筋が付け替えられ、現在に正式な宿駅として栗橋宿が成立した。1843年当時の人口は1,741人、家数404軒、本陣、脇本陣、旅籠25軒との記録が残

る。なお、前述の通り栗橋宿と利根川対岸の中田宿は合宿の形態をとっており、荷物や人夫の継ぎ立てを行う問屋の業務は半月毎の交代制であった。また、本陣を代々務めたのは栗橋宿の開宿に尽力した池田鴨之介から続いた池田家で、現在も本陣跡地に健在である。その他の町並みも駅より比較的離れたところにあるためか旧家が所々に残り、旧宿場町の面影を感じさせる。



八坂神社



静御前ノ墓



静桜



八坂神社狛犬の鯉



関所跡



本陣跡



会津見送り稲荷

第13回伊奈連協グラウンドゴルフ大会

9月10日

第13回伊奈連協グラウンドゴルフ大会が第1期から19期までと専科1期の校友会員89名が参加して伊奈学園グラウンドで開かれました。この大会はグラウンドゴルフを通じて会員相互の親睦と健康増進を図るとともに、10月20日の県連協主催の県連協大会への出場者(22名)を選抜する大会でもあります。郷土の会より大阿久さん・

田中さんが参加。 まちづくりから2名参加。

まず、開会式は、伊奈連協会長(15期)島田大会会長の「上手な人はよいスコアを、上手でない人は楽しく」という挨拶で始まり、競技部長等から競技のルール等の説明があり、競技開始となりました。

ルールは次のとおりです。

スコアは個人記入の新ルール

打数は6打まで

ホールイン1は8番のみ。

表彰状 優勝・準優勝・第3位

賞品 優勝・準優勝・第3位・第4位・

第5位、

試合終了後は209室で閉会式が行われました。**優勝は9期の丸山さん**でした。

専科から出場した4名は、入賞は逃したものの、それぞれの成績で大会を楽しみました。

